

第4回日本リハビリテーション国際交流協会学術大会
青年海外協力隊50周年式典に
参加して

三浦 和

開催概要



- 日時:11月17日(火)
- 場所:パシフィコ横浜 国立大ホール
- 参加者:天皇皇后両陛下、青年海外協力隊をはじめとするJICAボランティア経験者や支援者など約4500名。



開催内容



第1部：国歌独唱・式辞

【来賓祝辞】

- ・安倍晋三内閣総理大臣：協力隊の活動は「日本外交の宝」
- ・「日本の国際協力～特に青年海外協力隊の活動～を支援する国会議員の会」会長の額賀福志郎衆議院議員

【派遣国からビデオメッセージ】

- ・ラオス人民民主共和国のトンシン・タンマヴォン首相：JICAボランティアが文化や習慣、生活環境の違いがある中でも住民と共に粘り強く課題解決に取り組んだことについて感謝している。

【帰国隊員のことば】

- ・河内毅さん：多くのことを学び育ててもらった途上国の人々への謝意、そして協力隊の経験を今後、社会に還元していく

【次世代からのメッセージ】

- ・2人の高校生：国際貢献に携わっていきたい

第2部

- 民族音楽の演奏
- 鈴木大地スポーツ庁長官と帰国隊員によるパネルトーク「あなたの経験を未来へ」
- 協力隊をモチーフにした映画「クロスロード」の紹介。
- アンダーグラフの真戸原直人氏が制作した協力隊50周年のイメージソング「ひとりひとつ」を、協力隊を応援する方々（乙武洋匡、カズン、倉木麻衣、庄野真代、高橋尚子、宮沢和史、わたなべだいすけ(D.W.ニコルズ)、アレクサンドラ・ブンスアイ、chihiRo(JiLL-Decoy association)、D-51。敬称略)と一緒に歌い上げた。
- 「若い力の歌」斉唱



今後の協力隊

- 青年海外協力隊(20歳～39歳)は、1965年の発足以来、**88カ国**(アジア、アフリカ、中東、中南米、大洋州、東欧)で、**延べ40,977名**(2015年11月17日現在)の隊員が活動してきた。
- JICAは、加えて、シニア海外ボランティア(40歳～69歳)や、中南米地域における日系社会及び当該地域の住民を対象に協力活動を行う日系社会青年ボランティア、日系社会シニア・ボランティアを実施している。
- **約48,000人のボランティア**を開発途上国に派遣しており、青年からシニア層 まで、幅広い世代の国民が参加する事業に成長した。
- JICAは、これからもボランティア事業を通して、開発途上国が抱える課題に草の根レベルで取り組み、経済や社会の発展に貢献していく。